



特集 観光公社誕生でまちが変わる？

まちの話題	— News & Topics —	9 — 13
くらしの情報	— Information —	14 — 23
みんなの広場	— Arts & People —	24 — 25
探訪南会津		26

会津田島祇園祭「大屋台の運行」
今年も迫力ある大屋台の運行に子どもたちは大喜びでした

南会津観光公社誕生でまちが変わる？



Minami Aizu

02

Special Stories

7月1日、株式会社南会津観光公社が誕生しました。南会津観光公社は、町村合併し、一つになった4地域の観光資源を有効に活用し、観光産業の起爆剤となることが期待されています。果たして南会津観光公社はどのような将来予測のもと、どのような事業を展開し、町の観光の可能性を広げるのでしょうか？

南会津観光公社趣意書から見える町の観光の状況

平成18年3月、田島町と館岩村、伊南村、南郷村が合併し南会津町が誕生しました。町は合併により広大な面積を有するとともに、県内屈指の規模を誇る会津高原スキー場群をはじめ、四季折々に変わる豊かな自然や伝統文化、温泉資源などを有する観光資源の宝庫となりました。また、今後、田代山、帝釈山一帯が尾瀬国立公園に編入されることもあり、観光振興へ向けた大きなチャンスを迎えております。

このように、当町には優れた観光資源があるにもかかわらず、資源をコーディネートできる人材や組織が不足しており、特産品開発や旅行商品の開発が立ち遅れるなど既存ストックが効果的に活用されていないのが現状です。

昨今は、旅行者ニーズや旅行形態も大きく変化してきており、良い観光資源があればお客様がやってくるという時代は終わり、観光業においてもマーケットニーズの取り込みとそれに対応した商品開発が最も重要な戦略となってきました。また、観光業の裾野は広く、その成長が地域経済に与える影響はきわめて大きなものがあり、農林業や商工業など低迷する地域経済を牽引する中心産業として、観光産業の成長が強く望まれています。

株式会社南会津観光公社は、観光業のプロとして地域に分散する資源を集約・活用し、これまでにない能動的な観光戦略を展開いたします。観光窓口を一本化しインフォーマー・シヨン機能を充実させるとともに、農林業等の地場産業と連携させた総合的な観光振興を提案、実践してまいります。さらには、滞在型観光客の増加を促し通年型観光への転換を図るため、旅行商品の企画提案と積極的な営業活動を行い、観光や物産開発をトータルにコーディネートしながら、地域経済を活性化する役割を担う会社づくりを進めてまいります。

また、全体の入込数に占めるスキー客の割合が40%強と高いことから、雪のないシーズンの集客をいかに行っていくかも、これからの南会津町の観光の課題です。さらには、南会津町としての枠組だけでなく、下郷町や桜枝岐村、只見町などの、近隣町村の観光資源を生かし、結びつけるための二次交通整備、ガイドやインストラクターなどの「人」の育成を含めた受入体制の整備、広域的観光周遊ルートを確立するためにも「南会津エリア」としての広い

観光客入込数から見える町の観光の状況

このように、(株)南会津観光公社では、これまで4地域に点在していた観光資源をトータルに活用し、魅力ある南会津町の観光を作り上げることを目的に設立されました。

県では毎年県内の観光地を「自然」、「文化・歴史」、「温泉」、「イベント」など、8つの分野に当てはめ、観光客入込み状況を調査しています。南会津町からは下の表のように、12地点が抽出され、調査が行われています。この調査から分かることは、プラ

視点からの取組みが求められています。これらの課題を南会津観光公社がどのように解決を図っていくのか、注目されることです。

南会津町と周辺町村の観光客入込数

調査集計地点	平成16年	平成17年	平成18年	3カ年計
駒止湿原	94,240	78,589	62,949	235,778
高清水自然公園	-	-	18,903	18,903
だいくらスキー場	94,771	99,921	89,469	284,161
たかつえスキー場	315,710	334,520	316,408	966,638
高畑スキー場	71,444	67,644	56,385	195,473
南郷スキー場	76,424	71,034	60,553	208,011
湯ノ花・木賊・たかつえ温泉	200,089	206,187	204,406	610,682
小豆・古町温泉	-	65,739	77,007	142,746
さかい・山口温泉	95,829	94,902	86,325	277,056
道の駅たじま	-	339,381	329,923	669,304
会津田島祇園祭	75,000	90,000	100,000	265,000
会津高原たていわ夏まつり	-	9,000	9,800	18,800
南会津町合計	1,023,507	1,456,917	1,412,128	3,892,552
大内宿	802,812	864,647	911,003	2,578,462
塔のへつり	586,015	642,964	681,029	2,362,462
湯野上温泉	68,190	67,528	67,891	203,609
尾瀬	107,610	109,750	116,407	333,767

※福島県商工労働部・地域経済領域観光グループ作成「福島県観光客入込状況」による



南会津観光公社事務所は会津田島ステーションプラザ1階にあります。社員一同笑顔で対応します。どうぞお立ち寄りください

株式会社 南会津観光公社の概要

《名称》 株式会社 南会津観光公社 (TEL 0241-62-2250 / 0241-62-2261)

《所在地》 福島県南会津郡南会津町田島字後町甲 3973-1 会津田島ステーションプラザ内

《事業開始》 平成19年7月1日

《資本金》 5,000万円 (町出資3,800万円 第三セクター4社出資1,200万円)

《出資者》 南会津町、会津高原夢開発株式会社、会津高原リゾート株式会社、株式会社INA、株式会社さゆりの里

《役員構成》 代表取締役会長 (町長・湯田芳博)、代表取締役社長 (夢開発社長・高橋正志)、取締役支配人 (日本旅行出向社員・福来義明)、非常勤取締役 (ARS理事長・下村一裕)

《運営形態》 代表取締役社長 (夢開発社長・高橋正志)、取締役支配人 (日本旅行出向社員・福来義明) スタッフ/南会津町役場出向社員1名 (総務担当)、夢開発派遣社員1名 (営業担当)、プロパー社員2名 (営業、総務)、臨時職員7名→レストラン・売店部門担当

■主な業務 (予定を含む)

◇ステーションプラザ1F売店・事務スペース (TEL 0241-62-5757) (TEL 0241-62-2250)

- ①旅行サービスカウンター
- ②総合観光案内所
- ③観光土産品、酒類、日用品、雑貨販売
- ④農産物等の直売
- ⑤宅配受付業務

◇ステーションプラザ2Fレストラン

- ①郷土料理、酒類の提供
- ②中華・イタリアンメニューの充実
- ③軽食、ファーストフードメニューの充実
- ④営業時間延長の検討

◇企画・営業活動等

- ①ステーションプラザ管理業務 (指定管理者制)
- ②教育旅行商品の開発・営業
- ③個人向け体験型旅行商品の開発・宣伝及びインストラクター養成
- ④観光コンサルタント事業、人材教育
- ⑤観光土産品の企画、開発、製造委託及びコンサル業務
- ⑥レンタカー手配、レンタサイクル、有料駐車場業務



対談

南会津観光公社誕生でまちが変わる？

(株)南会津観光公社社長 湯田 芳博

(株)南会津観光公社社長 高橋 正志

(株)南会津観光公社支配人 福来 義明

司会 本庁企画観光課長 星 廣政

南会津観光公社がなぜ今必要で、地域でどのような役割を果し、そして私たちの生活にどのような影響を与えるのか？観光公社に携わる3者の対談から見えてくるものがあります。



湯田 芳博 町長



高橋 正志 社長



福来 義明 支配人

PRPROFILE

高橋 正志 (たかはし まさし)

生年月日：昭和25年10月24日生 宮城県仙台出身
昨年10月東京都中央区に本社を持つ(株)鈴木商会から会津高原夢開発(株)代表取締役役に就任。

PRPROFILE

福来 義明 (ふくらい よしあき)

生年月日：昭和26年6月2日生 宮城県仙台出身
昭和48年に(株)日本旅行に入社。同社山形・仙台支店長を歴任し、今回南会津観光公社に出向。趣味はゴルフ、スポーツ観戦。

なぜ今観光公社が必要か？

司会 本日はお忙しい中、「観光公社誕生で町が変わる？」の対談に参加いただき、ありがとうございます。今月の広報みなみあいづでは、南会津観光公社の誕生を通してこれからの南会津町の観光を考えます。

さて、南会津観光公社の誕生は、住民の皆さんの注目を集めています。その注目の理由は次のような疑問に集約されると思います。まず一つ目は、なぜ町が出資し、観光公社を設立したのか？どうして観光公社が必要なのか？ということですね。そして2つ目は、観光公社はどのような業務を行い、町の観光にどのような恩恵を生むのか？ということ。そして最後は、その変化は住民の皆さんの生活にどのような変化を与えるのか？という点です。これらについて、皆さんにそれぞれの思いや考えを述べていただき、住民の皆さんに分かやすいようにお伝えできればと考えています。

では、まずは町長に「なぜ町が出資し、観光公社を設立したのか？どうして観光公社が必要なのか？」という点についてお聞きします。

町長 私は3年間で2回の選挙を経験し、本当に真剣に町のことを考えている方たちに光が当たっていない、ということを強く感じました。そういう人たちは高い能力と素晴らしいネットワークを持っているのですが、人の考えというのは大衆的な見地か



ら判断・決定されるので、そういう人たちが活かされていかなかったのです。

また、地域から面白いことやいいアイデアが出てくるんですが、行政は聞き流しにしてきた部分がありました。これは行政の能力不足が原因です。そこで、私は「これはやっぱり民間の企業を作らなきゃいけない」と感じました。

しかし、4つの地域には4つの第3セクターがあります。この4つの第3セクターとの違いについてですが、それぞれの会社の職員の皆さんは頑張っているしやいます。しかし、これも実は行政との関わりが強過ぎたために、会社の自主性が発揮しにくい状態になりました。ここをなんとか打破しなければいけない。さらにもう一つは、民間とい

ながら具体性に乏しかった。例えば、「観光は裾野が広い」といいながら、具体的にネットワークを構築したり、地域を上げて事業展開することができていなかったんです。これを解消するにはやはり行政とは違う、専門家を入れてきちっと押さえていただきながら、そして地域の資源を掘り出しながらこれらを結びつけ、面的に捉えて他の地域に差をつけて差をつけていかなければ生き残っていきません。こういう思いで観光公社を立ち上げました。

そして「なぜ今か？」ということについては、現在都市機能が疲弊しています。便利・合理性があつていいのですが、一方で精神的な問題が崩壊してきています。この時期に都市が失いつつあるものを地方が受け皿になろう、という発想です。

観光公社にける期待

司会 次に高橋社長にお聞きします。高橋社長は夢開発社長として昨年10月から、これまでもだいくらスキー場や山村道場で様々な誘客活動に取り組んで来られました。その実践の中での成果や課題を含め、南会津観光公社に対する期待などをお聞かせください。

高橋 私は昨年10月にこちらに来て以来、夢開発と地域の方々のお付き合いの中で、この地域にはほとぼりあるものがあると感じています。というものは、皆さんの生活の営みの中

で、いいこと、頑張っていることがあると感じました。それを引き出すためにどうしたらいいか？というのを考えて取り組んできました。

今回観光公社がスタートして、早速関西・広島に営業に行ってきた。そこで改めて痛感したことがありました。それは、日光・会津若松はメジャーだが南会津は認知度が低い。通過点でしかなく、空白に近い状態なんです。この現状を抜け出すために、これから努力をしていかなくなくてはなりません。

ところで、私は観光資源とは単に豊かな緑とか自然とかそういうものではないと思つています。資源とはその中で生きている人たちが一生懸命何かを作り、何かを育てている、というようなものだと思います。これからそういう人たちとともに創意工夫して価値を高め、誘客に努めたいと考えています。

今回の営業中に広島県の世羅町で視察も行ってきました。そこでは世羅高原6次産業ネットワーク（※）という農業を中心として果樹農園・農産物加工、販売など様々な異業種の55団体がゆるやかなネットワークを構築し、町の活性化を図っています。その人たちは町の発展のためにいろいろ考えて独立採算でやっています。そういうものを南会津でもできるんじゃないか？行政でやるんじゃないか？ここで頑張っている人たちとネットワークを作って南会津を発信

していきたいと考えています。具体的な事業の一つとして、100人

くらいの規模のイベントを定期的に開催していきます。8月は津軽三味線、次の月は沢田知可子さんを、10月にはバンドを呼びます。12月は南こうせつさんのお兄さんのコンサートを企画しています。なぜ100人規模かという点、演奏者とお客さんの距離が近いということです。近いと演奏者に南会津の人たちの気持ちが伝わりやすくなります。マスクやメディアを上手に利用するのと同じように、エンターティナーが南会津を宣伝してくれることになると考えています。

観光公社が取り組むこと

司会 続いて福来支配人に、南会津観光公社の事業内容の説明と、その中で特徴的な事業についてご紹介いただきたいと思います。

福来 旅行業、旅行代理店としての業務を行います。「4地域の観光資源を線で結んで各地に売り込んでいく」「企画立案をして発信していく」というのが業務の大きな柱になります。そして旅行業者として各旅行業者と提携する営業活動を行っています。最近大手旅行会社では、行政が主導している「地域素材」というものを探しています。したがって、この地域を魅力あるものにしていくためにはいけないと考えます。地域を



魅力あるものにするために、まずはお客様に来ていただけるように誘客します。そして、次にお客様にどのようなおもてなしができるのか、実際に開発していきます。そして、それぞれをつなぐネットワークを構築していく、地域の活性化を図っていきたいと考えています。

南会津の魅力を再考する

司会 さて、次に南会津町の魅力について皆さんにお聞きします。南会津町の一つの特徴として、町外からいらつしやる「南会津町ファン」が大変多いということだと思えます。「地元学」では外の視点により地域の良さに気づくことを「よそ者効果」と呼び、南会津にはそのよそ者効果によって引き出されている魅力がたくさんあります。このことを踏まえ、南会津町にはどのような魅力があるのか、お聞かせください。

『地域の魅力に気づいたとき、大きな輝きを放つ』(町長)

『町の観光資源とは、この地域の住む人たちが普段の生活の中で一生懸命何かを育むこと』(高橋)

『交流で地域が元気になる』(福来)

高橋

何が素晴らしいか？というと、先ほども話しましたが、南会津の素晴らしさは、豊かな自然ではなく、ここに住んでいる人たちが自分の仕事を一生懸命やっている、ということなんです。その営みの様子は本当に素晴らしいと思います。私これを広めたいんです。地域の皆さんも何かやりたいと思っているのですが、なかなかきっかけが無い。私は、皆さんが南会津町を愛し、大切にしたいと思っていらいつしやる、というのが分かるので、「来なきや分からない」、というのは歯がゆくて仕方ないんです。その辺の橋渡しを観光公社でできれば嬉しいですね。

私は「よそ者・ばか者・若者」の中よそ者ですが、本当によそ者でよかったと思っています。私の持つネットワークで、ぜひそれを結び付けて行きたいと思っています。

福来 まだ2ヶ月しかたっていないので分からないところが多いのですが、まずはスキー場が4つもあるのは魅力。全国的にも珍しいので全国にPRしていきたい。

それと、全国の旅行代理店の会津のパンフレットを見てみると、若松を中心に南会津エリアでは大内宿までしか載っていないことが多い。これをなんとかしていきたいかなと思います。南会津町には古い歴史、御蔵入、農業学校跡地など、歴史のある町として大内宿には無い魅力ですので、PRしていきたい。

町長

南会津町の魅力を一言で言えば、「手付かずの状態である」ということだと思います。時代の変遷とともに、それに乗らなかつた、これが魅力だと思っています。地元学とは、地元で潜在している人材や資源を地元で見ることができた。これをよそ者が見ることによって光が当たる。その光と潜在していた能力が結びついたときにどこにもない魅力や気づきが生れる。ある意味で今までマイナスにしか捉えていなかったことが実は南会津の大きな魅力だと思います。そこでその魅力に気づいたとき、その資源や人間というのは大きな輝きを放つのです。

司会 それが「ありがたいの広がる新しい町づくり」やそのキーワードである「存在感」ということにつながるわけですね。

町長 人間は「まるごと人間」。例えばその人が勉強嫌いで、試験ではビリであったとしてもそれがその人の人間としての魅力の一つなんです。ところがものさしを作って「あれが正しくて、これが正しくない。これが良くてこれが良くない」と決めてしまふと人間が分割されてしまふ。そうではなく、私が目指すのは良いところも悪いところも全て含めて「まるごと人間」です。ここに住む全ての人々が互いの個性や存在感を認め、分かち合うことで「ありがたいの広がる町づくり」が作られていくと思っています。

観光公社と町づくり

司会 それでは最後に、南会津観光公社の誕生により、町の観光はどのように変わるのか？そして住民の皆さんにとつてどのような変化が生まれるのか？について、話を進めていきたいと思えます。また、町長にはこの観光業の変化を通し、今後どのような町づくりを進めていかれるのか、お聞かせください。

福来 現在の修学旅行・教育旅行のトレンドは「民泊」です。普通の田舎の農家や一般の家庭に宿泊体験することを全国の多くの学校が求めています。多くの子どもたちがこの地域を訪れ、地域の方々と触れ合うと交流が生まれ、地域に元気が出てきます。それらの交流を実現することが将来的な私の夢です。

高橋 観光公社は、「平等性」を求められると思えます。しかし、私は平等性はないと思っています。まずは、私はこの地域で熱意のある人、本気で取り組んでいる人と手を組んでやっていきたい。そして核をつくりたい。ただし、参加機会の平等は大切です。そのために、私たちは私たちのやっていくこと、過程を皆さんに見ていただきたいと思っています。そのためには私たちの取り組みをオープンに、透明にしていく必要があります。透明にした上で、ネットワークを作るときには、温度を持つ人、温度差の少ない人、熱のある

人たちと組んで、いいものを作つて行きたいです。熱意を持つていいものを作つていくと、情報の発信量が増え、どんどん増えてきます。アクセス量が増えてきます。もつともつと外へアピールしていきたい。

町長 現在「少子高齢化」が叫ばれています。果たして本当に少子高齢化は悪いことなのでしょうか。特に高齢化は長生き、長寿の裏返しであり、長生きは私たちの人生の最高の願いの一つです。高齢者の基準は65歳ですが、これは昭和39年に国で制度化したもので、その当時の平均寿命は68歳。現在は78歳で、現状と合わない状況にあります。国の基準は変えられないので、町の高齢者の基準を独自に設ければいい。南会津町では75歳までは「生産年齢」とすれば、観光の分野でも役割が与えられ、存在感のある町づくりができるようになるのではないのでしょうか。

一方、少子化では、夏休みなど都会の生活で疲れている子どもたちを南会津町に呼び、短期滞在型の教育旅行をしてもらう。ここで様々な体験をしてもらい、「夏休みを過ごしてこんな体験ができた、こんなに元気になった」というような成功事例を重ね、将来的には「子育てをするなら南会津町」としていききたい。少子化に歯止めがかかり、若い人たちが子どもたちが増え、にぎわいが出てくれば町が活性化されてくるのではないのでしょうか。そんなまちづくり

をしていきたいと思えます。

取材を終えて

南会津町にはたくさんさんの素晴らしい資源があります。自然、文化、スポーツ、イベント、そして私たちが先人から受け継いでいる生活様式や佇まい……。大きなホテルやテーマパークなど、都会や大きな観光地にある一瞬の光を放つ資源ではなく、ジワジワと訪れた皆さんの心を温めるような資源が確実に存在します。そしてその魅力は「南会津ファン」の多さによって証明されています。しかし、合併後、魅力が増えたにも関わらず、それらが観光業に十分活用されていないとは言い難い状況にあります。

株式会社南会津観光公社はそれら資源をリンクさせ、現在単体で活用しているものを結びつけ、より輝きを放たせるために発足しました。具体的には、既存の観光資源を結びつけ周遊型の観光ルートを作ること、2次交通を整備すること、そして教育旅行や修学旅行に力を入れ、交流人口を増やすとともに、まだ隠れている観光資源（人・モノ）を発掘していくことが急務とされます。

南会津観光公社の誕生により、私たちは私たちの生活を見直すきっかけを与えられているのかもしれない

ん。「何が良くて何が悪い、これが正しくてあれが悪い」という物差しを作り、可能性を否定するのではなく、今この町に存在するものの見方を少し変えるといういろいろな可能性や輝きが見えてくるのかもしれない。この町の資源は全て、現在ここで生活し、何かを育んでいる私たちの手によって作られています。この事実を肯定的に捉え、全ての人が輝けるようなまちづくりを進めることこそが、観光資源を増やし、さらに町を元気にすることにつながるのだと思えます。

「観光公社誕生によってまちは変わるか？」これは観光公社の問題ではなく、私たちに課せられた課題なのかもしれません。



7/1 南会津観光公社オープニングセレモニー 公社看板除幕式

2007 会津田島祇園祭



800年余りの歴史を持つ会津田島祇園祭が今年も開催されました。子供歌舞伎、七行器行列、大屋台運行といった伝統行事に加え、今年通行制限区域となった西町区では流し踊りが行われ、祇園祭はまた新しい魅力を持ちました。約9万人の方が訪れ、田島の歴史と文化を堪能しました。

①



09

②



⑤



⑥

- ①子供歌舞伎
- ②大屋台の運行
- ③藤好会流し踊り
- ④西町流し踊り
- ⑤中屋台シャンギリ愛好会の皆さんがシャンギリ演奏で七行器行列を盛り上げました
- ⑥オープニングセレモニー
祇園'Sの発表
- ⑦七行器行列



③



④



⑦

『クワガタの里』を目指して 伊南地域

クワガタの王様オオクワガタ

もうすぐ夏休み。男の子の夏休みの楽しみの一つはカブトムシやクワガタを集めること。男性であれば誰もが子どものころ夢中になって集めた経験があることでしょう。そしてクワガタの王様といわれるのが「オオクワガタ」。その身体の輝きから「黒いダイヤモンド」とも呼ばれています。

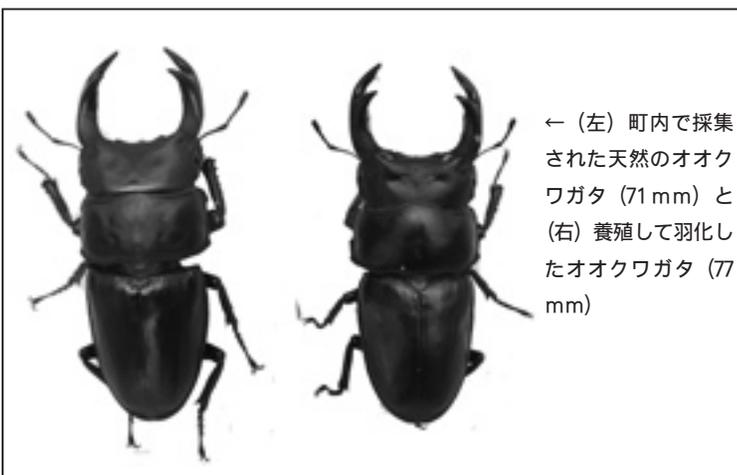
伊南観光協会では、昨年から県の地域づくり総合支援事業の採択を受け、「クワガタの里づくり事業」に取り組んでいます。南会津町、とりわけ西部地区は日本でも有数のオオクワガタの産地といわれています。そこで伊南観光協会では、オオクワガタの採集、養殖することで伊南地域を「クワガタの里」として定着させる試みを行っています。

か どのような事業を行っているのか

県内では常葉町（現田村市）がカブトムシを大量に養殖し、「ムシムシランド」を運営し、カブトムシの販売や交流人口の増加など、地域の活性化に成功しています。しかし、クワガタを使った取り組みの事例は少なく、「クワガタの里」として定着すれば大きな経済効果が期待されます。

昨年は伊南地域に宿泊した方を対象に灯火採集イベントを行いました。このイベントには主に関東地方からの宿泊者が参加し、3回の開催で84名の参加がありました。また、オオクワガタの養殖も試み、今年には親子ペア48組、幼虫348匹の養殖に成功しています。

今年も灯火採集イベントを継続的に開催するとともに、クワガタを観察することのできる「クワガタふれあい展示室」の設置を計画しています。さらに、養殖は1000匹を目標に行います。また、伊南観光協会では、地元の方が参加できる灯火採集イベントも企画しているそうです。



← (左) 町内で採集された天然のオオクワガタ (71mm) と (右) 養殖して羽化したオオクワガタ (77mm)

夏休み企画 オオクワガタの養殖講座

協力：伊南観光協会

①セッティング



用意するもの

- ①マット（おがくず）
- ②産卵木（クヌギ・コナラ）
- ③えさ（ゼリー）
- ④菌糸瓶

- ・容器にマット（おがくず）を敷く。温度変化や乾燥を防ぐ意味でも厚めに敷く。（必ず湿った状態にしておく）
- ・産卵木は事前に水に1日程度浸しておく。また、産卵木は半分埋まるように置く。
- ・エサはゼリーやリンゴ、バナナなど。
※マットの湿度を保っておけば1ヶ月程度エサを食べなくても死にません。



②2ヶ月後…



←木が朽ちているのは皮を破って卵を産んだ跡です。

- ・時々様子を見てエサが切れた場合は補充する。（繁殖時はたくさん食べます）
- ・産卵に使用できるのは、オスで羽化後2ヶ月以上、メスで羽化後6ヶ月以上経過したものが望ましい。



③卵→幼虫



↑幼虫が生まれました

④菌糸瓶へ



↑幼虫を菌糸瓶に移します

⑤成長



↑2～3カ月経過

- ・羽化後は菌糸瓶にエサを入れ、菌糸瓶の中で育て、成熟させます。
- ・菌糸瓶は周りが黒くなったら交換しましょう。
- ・気温 28℃以下で育てましょう。

⑦羽化



羽化オス：約10ヶ月経過
メス：約6ヶ月経過

⑥サナギ



↑オス：約6ヶ月経過
メス：約4ヶ月経過



館岩地域が全国に発信**■ 7月22日・23日****ふるさと南会津ロケ誘致ネットワークによる「桃太郎一座」ロケ**

館岩地域で、南会津ロケ誘致ネットワークによるテレビロケ誘致により、スペシャル特番として「桃太郎一座！村人喜ばせ隊」のロケが行われました。

ロケは初日に館岩小学校で不思議な科学の実験で知られる米村でんじろう先生による実験を真近に見て小学生は歓声をあげて喜んでいました。2日目には前沢曲家集落と湯ノ花温泉でのロケが行われ、高橋英樹、中山秀征、ナポレオンズ、たち、にしおかすみこ、小林幸子など10数人の芸能人が出演し、湯ノ花舞台で行われたロケでは100人の地元ギャラリーを喜ばせていました。

南会津ロケ誘致ネットワークでは南会津の自然資源、伝統文化を利用し、映画やテレビのロケ誘致を積極的に行っています。

**自然の大切さ、生き物について学ぶ****■ 館岩・南郷地域**

6月29日南会西部漁協館岩支部主催による川の体験学習会が南会津町立館岩幼稚園で開催されました。幼稚園児や就園前の幼児に川の大切さを知ってもらおうと企画されたもので、幼稚園児、幼児37名、保護者30名が参加しました。

はじめに南会西部漁協の達城鶴博さんから「川の生き物について」のお話があり、命の大切さについて園児や幼児は保護者と一緒に学びました。その後、ビニールプールに放されたイワナつかみが実施され、園児や幼児は、歓声を上げながら、イワナを追いかけました。

また、南郷第二小学校では、2・3年生を対象に「森林と水の学習会」（南会津森林土木協会・南会津農林事務所森林事業部・福島県建設業協会山口支部青年部主催）が行われました。森の学習のあと、児童は鹿水川にイワナを放流しました。

第12回会津高原たていわ夏まつり**■ 7月29日 館岩地域**

第12回の会津高原たていわ夏まつりがたかつエスキースペース前広場で開催されました。

日中は、民謡や舞踊愛好会の唄や踊りが披露され、木遣、湯ノ花神楽などの郷土芸能も行われ、夕方からは久川城太鼓、たていわ太鼓の演奏とYOSAKOIに地元のチームが踊りを披露しました。

夜8時から、約2,000発の花火が会津高原の夜空に打ち上げられ、ハートや星型の花火に歓声があがり、最後には仕掛け花火のナイアガラと大スターマインに観客は涼しい夏の夜の会津高原を十分堪能していました。



人権擁護委員に佐藤万里子さん

■伊南地域

伊南地域浜野の佐藤万里子さんが7月1日付けで、人権擁護委員として法務大臣から委嘱されました。佐藤さんは、今回初めての委嘱となります。「人権擁護委員」は、住民の暮らしの中で起こる様々な人権に関する問題を解決する地域の相談役で任期は3年です。

なお、現在町内には、今回委嘱された佐藤さんのほか、次の皆さんが務められています。人権に関することでお悩み、お困りの方はお気軽に御相談ください。



佐藤万里子さん

居住地区名		氏名	居住地区名		氏名
田島	中荒井	渡部 榮子	館岩	岩下	星 日出子
	上中町	長谷川次男		湯ノ花	星 シズ子
	高野	星 紀夫	南郷	木伏	馬場 恒正
伊南	浜野	佐藤万里子		片貝	辺見 賢

屋台「いなGO！」グランドオープン

■7月21日 福島市屋台村

先月号お伝えした南会津町のアンテナショップ・屋台「いなGO!!」がついにグランドオープンしました。

午後5時からのオープニングセレモニーでは、清水修二教授が「都市と農村交流宣言」と題した詩の朗読をされたあと、町長、今野学長があいさつを行いました。それから、地酒で鏡割りを行い、久川城太鼓の勇壮な音色の中で、屋台「いなGO!!」は盛大にグランドオープンを飾りました。

屋台「いなGO!!」では、南会津町の地酒、会津地鶏、伊南の新鮮野菜を使った焼鳥や煮込み、鮎・イワナの塩焼きなどの料理、伊南の方が作った郷土料理を提供します。豊かな自然の恵みの中で育った安心安全の美味しい食材を使った料理は、どれも好評であり、福島大学の学生の皆さんも一生懸命に運営しています。屋台「いなGO!!」は9月29日（土）までの毎週金・土曜日の18:00から25:00まで営業しますので、福島市へお出かけの際はお立ち寄りください。



広報情報係に職場体験

■7月9日～13日 館岩中学校

館岩中学校全校生徒68名は、7月9日から13日までの5日間、田島地域の事業所や商店で職場体験を行いました。（1年生は館岩地域内）

館岩中学校の職場体験は、生徒の職業意識の向上や学習意欲の喚起などを目的に毎年行われていて、より多様な職種を体験できる田島地域で実施すること、5日間という長期間に渡り体験することが特徴となっています。

7月10日、本庁企画観光課広報情報係にも芳賀大樹くん（3年）と星満里奈さん（2年）が訪れ、広報誌作りを体験しました。2人は他の事業所で職場体験する生徒のもとを訪れ、取材し、原稿を作りました。

芳賀大樹くんのレポート

僕は会津鉄道(株)で職場体験を行った芳賀光くん（3年）を取材しました。光くんは先日館岩中学校で行われた接客教室の際、講師の方に「天才」と賛辞された生徒で、その彼がどのように職場体験をしているのか、注目したかったからです。

この職場体験を通して、館岩中学校生徒は大きく成長することだと思います。今後の学校生活でこの体験が活かされることを期待したいと思います。

また、僕はこの広報の仕事を通して、役場にはいろいろな仕事があることを学びました。そして広報誌作りはとても楽しい仕事だということも学びました。



星満里奈さんのレポート

私はリオンドールで職場体験した、大山瑠くん、阿久津恵さん、阿久津冴香さんの3人を取材しました。3人は惣菜・青果・すしの各部門に分かれ、商品を出したり、商品の仕分けを行っていました。

阿久津冴香さんにインタビューし、その仕事を選んだ理由や感想を聞きました。大山瑠くんと阿久津恵さんも一生懸命に作業を行い、2人とも「楽しい」と答えてくれました。

私は今日1日の職場体験を通して、インタビューの仕方や記事のまとめ方などを学びました。また、取材を通して様々な仕事を知ることができ、とてもよい体験になりました。



くらしの情報
Information For Daily Life

日 日時	内 内容
場 場所	対 対象者
料 料金・費用	定 定員
申 申込方法・申込先	
問 問い合わせ先	
担 担当者	電 電話番号
F FAX 番号	A アドレス

このコーナーでは
町や県、国からのお知らせを
お伝えします

戦没者の遺族の皆さんへ

第8回特別弔慰金の請求期限が近づいてきました

先の大戦において公務等により死亡した軍人・軍属・準軍属の遺族で、次の要件を満たす方に、特別弔慰金が支給されます。

現在、請求手続きの受け付けを行っていますので、該当すると思われる方は、請求書を提出してください。

◎過去に請求された方へ

第6回及び第7回の特別弔慰金を受給されていた遺族の方で、まだ請求手続きがされていない方もあるようです。

内容の確認を希望される方は、遠慮なく次の担当までお問い合わせ願います。

◎今回から新たに請求権が発生する方へ

第6回及び第7回で請求要件を満たしていない遺族の方であっても、戦没者に関する年金を受給していた方が、その後死亡され、今回、新たに請求権を満たす場合もありますので、お心当たりのある

方は、遠慮なくご相談ください。

■請求できる要件

平成17年4月1日現在で、戦没者に関する年金（恩給法による公務扶助料・特例扶助料、援護法による遺族年金・遺族給与金など）の受給権を持つ遺族が一人もいないこと。

■対象者

戦没者等の死亡当時の遺族で、次の順番による先順位の遺族一人が対象者となります。

1. 戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権者
2. 戦没者等の子
3. 戦没者等と生計関係があった
- ① 父母 ② 孫 ③ 祖父母 ④ 兄弟姉妹
- (平成17年4月1日において、遺族以外の者と婚姻して姓が変わっている方や遺族以外の方の養子になつていない方を除く)
4. 上記3から除かれた① 父母
- ② 孫 ③ 祖父母 ④ 兄弟姉妹
5. 上記1から4以外の3親等内親族（戦没者等の死亡時まで引き続き一年以上の生計関係があった方に限る）

■支給額

40万円
10年償還の記名国債により、1年に4万円ずつ支給されます。

■受付期限

平成20年3月31日まで
受付期限を過ぎても請求手続きが行われない場合には、時効になり請求権が消滅しますので、ご注意ください。

■提出書類

次の窓口に、請求に必要な用紙が備え付けられています。また、戸籍等の添付書類も必要になります。

詳しくは、係員にご相談ください。

【担当窓口・問い合わせ先】

- 本庁健康福祉課社会福祉係
☎0244(62)6170
- 館岩総合支所住民課健康福祉係
☎0244(78)3325
- 伊南総合支所住民課健康福祉係
☎0244(76)7714
- 南郷総合支所南郷保健福祉センター・健康福祉係
☎0244(73)2788

すでに請求書を提出された方へのお知らせ

■国庫債券交付までの期間
県では、市町村から提出された請求書の書類審査を行っています。請求件数が多いため、国庫債券交付までに相当の月数を要しています。

役場に国庫債券が届きました際

には、速やかにご連絡をいたしますので、今しばらくお待ちください。

■国庫債券の引換日

特別弔慰金の国庫債券の引換日は、毎年6月15日となっております。

まだ国庫債券を受領していない方は、受領後に第1回目（平成18年）と第2回目（平成19年）の引き換えができますので、ご安心ください。

「恩給欠格者・戦後強制抑留者・引揚者」の皆さんへ

旧軍人等で恩給等を受けていない恩給欠格者、戦後、ソ連やモンゴルに強制抑留された者、終戦に伴い本邦以外の地域から引揚げられてこられた者の「ご本人」に、あらためて慰藉の念を表するため、左記の機関から

内閣総理大臣名の「特別慰労品」が贈呈されます。

過去に、内閣総理大臣名の書状等を受けた方、受ける資格があったにもかかわらず、書状を請求されていない方も対象となります。

◆実施機関

（請求書類の提出先）
独立行政法人 平和祈念事業特別基金

〒162-8672
東京都新宿区若松町1-1

◆請求期間

平成21年3月31日まで

◆特別慰労品

旅行券等引換券・置時計・万年筆・文箱・楯・銀杯の中から1点（資格要件等により選べるものに制約があります）

◆無料電話

☎0120(234)933

（月）金、午前9時15分～午後5時15分（土日休）

◆ホームページ

<http://www.heiwa.go.jp>

下記の窓口において、請求書類等を交付しておりますので、お心当たりの方は申し出てください。

【町の担当窓口】

- 本庁健康福祉課社会福祉係
☎0244(62)6170
- 館岩総合支所住民課健康福祉係
☎0244(78)3325
- 伊南総合支所住民課健康福祉係
☎0244(76)7714
- 南郷総合支所南郷保健福祉センター・健康福祉係
☎0244(73)2788

今月の納税

8月31日(金) 納期の町税は
町県民税 2期

国民健康保険税 2期 です。

忘れずに納税しましょう

納税に関するお問い合わせは

本庁税務課収税係 TEL 0241-62-6110

長寿を祝います

敬老会の開催

敬老会を以下の日程で開催します。

内容の変更点といたしまして、

本年は式典終了後の飲食は行わず、各行政区に「南会津町敬老の心交付金」を交付します。

この交付金は、地区独自の敬老会開催・会食・温泉入浴・スポーツ交流など、地域ぐるみで長寿を祝い、地域の中で支え合う安心のまちづくりを促進することを目的に交付するものです。

【開催日・会場】

田島地域

平成19年9月16日(日)

御蔵入交流館

館岩地域

平成19年9月13日(木)

場 館岩会館

伊南地域

平成19年9月12日(水)

場 伊南会館

南郷地域

平成19年9月14日(金)

場 南郷体育館

(4会場とも午前10時開会)

【内容】

- ・百歳賀寿表彰
- ・金婚夫婦表彰
- ・敬老祝金贈呈
- ・アトラクション

【招待者】

・75歳以上の方

・金婚夫婦表彰者

【問い合わせ先】

本庁健康福祉課社会福祉係

電話 0241-626170

館岩総合支所住民課健康福祉係

電話 0241-3325

伊南総合支所住民課健康福祉係

電話 0241-7714

南郷総合支所南郷保健福祉センター

電話 0241-2788

タ1健康福祉係

電話 0241-2788

お知らせ

児童手当の現況届はお済みですか?

児童手当(特例給付)は、小学校6年生までの児童を養育している方に支給されます。

平成19年4月より3歳未満の児童については1万円となりました。ただし、前年(または前々年)の所得が所得制限限度額以上の場合には、支給されません。

現在受給されている方については現況届が必要です。まだお済みでない方は本庁健康福祉課⑥窓口または各総合支所窓口で手続きをしてください。印鑑・保険証の写しが必要です。

詳しくは以下までお問い合わせください。

本庁健康福祉課社会福祉係

電話 0241-626170

館岩総合支所住民課健康福祉係

電話 0241-3325

伊南総合支所住民課健康福祉係

電話 0241-7714

南郷総合支所南郷保健福祉センター

電話 0241-2788

タ1健康福祉係

電話 0241-2788

休日納税相談

平日に仕事で納税できない方や納税について相談したい方は、ご利用ください。

平成19年8月26日(日)

午前9時～正午

問 本庁税務課

電話 0241-626110

電話 0241-6110

2007 SATOEスポーツ & カルチャーフェスティバル in たじま

フェスティバルの日程と内容をお知らせします。お問い合わせの上、ご来場ください。

日	時間	イベント・競技	会場	内容	参加校等
8/25 (土)	8:30	オープニングセレモニー	野球場	田島保育園・龍巳会による太鼓と踊り	田島保育園・龍巳会
	10:00	硬式野球	野球場	4校によるトーナメント戦	埼玉栄高・栄北高 花咲徳栄高・栄東高
	12:15	マーチングバンド・チアリーディング	野球場	演技披露	埼玉栄中・埼玉栄高
	12:30	ソフトボール	ソフトボール場	6チームによるトーナメント戦	埼玉栄高A・B 喜多方東高・葵高 若松商高・田島高
	13:00	陸上教室	多目的競技場	埼玉栄高駅伝部監督による教室	埼玉栄高・郡内中学校
	17:30	吹奏楽サマーナイトコンサート	御蔵入交流館	吹奏楽コンサート	埼玉栄高・田島中 田島高・田島吹奏楽団
8/26 (日)	8:45	スポ少ソフトティーボール大会	ソフトボール場	スポ少ソフトボール指導	町内スポ少ソフトボールチーム
	9:00	硬式野球決勝戦	野球場		
	11:40	閉会セレモニー・ダンス演技	野球場	演技披露	栄東高
	14:30	ソフトボール親善試合	ソフトボール場	田島選抜チームとの親善試合	田島選抜チーム 埼玉栄高

皆さんのご理解と御協力をお願いします

～丹藤踏切通行止めのお知らせ～

昨年度も皆さんのご協力のもと丹藤踏切の改良工事を実施しましたが、今年度も9月1日より改良工事を実施します。

工事期間中、皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

期 間 平成19年9月1日(土)～平成19年9月21日(金)

時間 午前10時～午後4時まで

箇 所 田島字元八幡地内

内 容 車両通行止め

時 間 終日(歩行者・自転車は通行できます)

連絡先 会津鉄道(株)施設課

電話 0242(28)5920

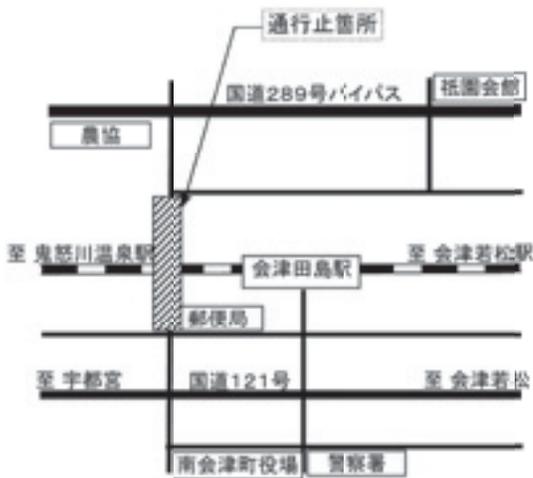
本庁建設課都市計画係

電話 0241(62)6230

今年も引き続き、工事を実施することで、道路と踏切の見通しが良くなり、歩道と車道が分離した安全・安心な踏切へと生まれ変わります。



現在の丹藤踏切



新潟中越沖地震義援金の募集について

～皆さんのご協力をお願いします～

去る平成7月16日に発生しました新潟県中越沖地震の被災者を支援するため、町では以下の通り義援金の受付をします。

この義援金は、日本赤十字社を通して被災された方々に配分されます。皆さまの温かいご支援をお待ちしています。

1. 義援金名称 平成19年新潟県中越沖地震義援金

2. 募集期間 平成19年7月17日(火)～平成20年1月16日(水)まで

3. 受付窓口及び問い合わせ先 本庁健康福祉課社会福祉係

電話 0241(62)6170

館岩総合支所住民課健康福祉係

電話 0241(78)3325

伊南総合支所住民課健康福祉係

電話 0241(76)7714

南郷総合支所南郷保健福祉センター

電話 0241(73)2788

◎直接日本赤十字社新潟県本部へ振り替えることもできます。

◆日本赤十字社郵便振替口座 番号「005101126」

名義「日本赤十字社新潟県本部」

※通信欄に「新潟中越沖地震」と明記ください。

※振替手数料は無料です。



南会津地方町村会では、7月18日柏崎市に救護物資(飲料水2ℓ入ペットボトル1,200本)を搬入しました。

みんなで作る

「いのち」の祭典 2007ふくしま

in 会津



わたしからあなたへ
あなたからみんなへ
愛がひろがるふくしまへ

18

平成19年

9月24日 月 振休 10:00▶17:00

開催場所 南会津町御蔵入交流館 TEL.0241-62-6311

オープニング 10:00~10:30 交流館正面入口「ごあいさつ」「大川深流太鼓」

天才でちもとのおもしろパフォーマンスとためになるお話
10:30~12:00 多目的ホール 劇団ふるさときゃらばん 寺本建雄氏

CAPおとな向けワークショップ

12:45~14:30 多目的ホール
「子どもの人権が尊重され、子どもへの暴力がない
安全な社会をつくるために」
※事前にお申し込みが必要です。(対象者18歳以上)

パネル等展示

10:00~15:00 ガーデンモール・健診ホール
「ドメスティックバイオレンス・女性の海外派遣事業ほか」
「子どもたちのピックアート」

授産品・特産品の展示販売

10:00~15:00 屋外ふれあい広場
南会津の郷土料理・農産物・特産品の販売や
人権団体模擬店、高齢者作品展など

成年後見制度等相談会

13:00~14:30 会議室1・2
「会津安心ネットの成年後見制度に関する相談会」「人権擁護委員による高齢者人権相談会」相談無料

劇団
ふるさときゃらばん
ミュージカル
15:00~17:00 大ホール
愛だかしの
新版・ももたろうものがたり
※事前にお申し込みが必要です。
(対象者5歳以上)

入場無料



Information

- みんなで作る「いのち」の祭典
2007ふくしま
10月7日(日)・8日(月・祝)
会場:ピックパレットふくしま[郡山市]
- in浜通り 9月22日(土)
会場:植葉町コミュニティセンター
- in中通り 9月23日(日)
会場:須賀川市文化センター

無料託児所【御蔵入交流館】

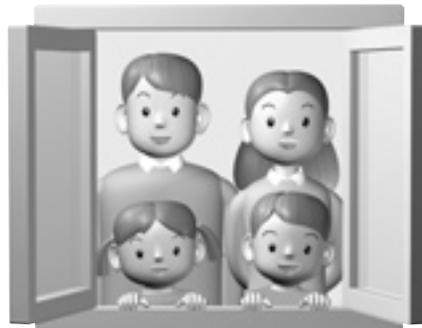
10:00~17:00 健診ホール
※受付は健診ホール入口で行います。

■主催 会津地域実行委員会/福島県/福島県教育委員会/南会津町/南会津町教育委員会/会津地域人権啓発活動ネットワーク協議会
 ■後援 財団法人 福島県市町村振興協議会
 ■お問い合わせ先 福島県生活環境部 人権男女共生グループ TEL.024-521-7958 <http://www.pref.fukushima.jp/jinken/>
 南会津町住民生活課 TEL.0241-62-6120 <http://www.minamiaizu.org/>

福祉のページ

今月紹介する団体は、昨年4月南郷地域に発足した特定非営利活動法人木の葉（澤井秋子理事長）の皆さんです。

木の葉は伊南・南郷地域と只見町に居住する19歳から64歳までの障害（知的）を持つ11名が通所する作業所です。毎週月曜日から金曜日までの5日間南郷地域片貝地区にある作業所に通い、活動を行っています。



問い合わせ 健康福祉課
TEL 0241 (62) 6170

NPO法人木の葉（南郷地域）

木の葉が誕生したのは昨年の4月でした。それまで西部地区には作業所がありませんでした。

木の葉が誕生し、11名の利用者は毎日元気に通所しています。主な活動は、クッキー作りや弁当の販売、配食サービスへの協力などで、木の葉で作られた手作りクッキーは、きらら289 やさゆり荘、湯ら里などで販売されています。また、只見町の㈱電源開発のご好意により、田子倉ダムの花壇の整備も行っています。

「地域の皆さんの様々なご協力に心から感謝しています」と感謝の言葉を語るのは、理事長の澤井秋子さん。あるお店からは、週1回お店の清掃のアルバイトを提供いただいたり、南郷地域の民生委員の皆さんからは、販売用の切り干し大根を無料で提供いただいているそうです。

「皆さんのご協力があるからこそ、ここに通う利用者がいきいき活動することができます。ここはみんなの居場所で、みんなでいられることが幸せなんです」と澤井さんは語ります。

木の葉は2年目を迎え、活動も充実してきました。南郷地域の豊年祭やひめさゆりまつりにも参加するなど、地域や地域の皆さんとのふれあいを利用者の皆さん



は楽しみにしているそうです。

誰にでも自分の居場所があるからこそ、いきいきすることができる。これは、障害者にも健常者にも共通することです。木の葉の皆さんはこれからも南郷地域を中心に活動します。地域の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



地域の皆さまへ

NPO法人木の葉では、地域の皆さまからのご支援をお待ちしています。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

個人会員 一口 500円

法人会員 一口 5000円

ご協力いただける方は、木の葉まで連絡ください。

特定非営利活動法人「木の葉」

南会津町片貝字根木屋向16番地

TEL 0241-71-6081

施設への通所を希望される方は遠慮なくお問い合わせください。

8・9月の健診（検診）のご案内

◆乳幼児健康診査

日程		健診名	受付時間	会場	対象者
8月21日	火	2歳児歯科健康診査	12:30～13:00	館岩保健センター	館岩地域のお子さん 平成17年2月～9月生まれ
8月30日	木	2歳児歯科健康診査	12:30～13:00	保健センター (御蔵入交流館内)	田島地域のお子さん 平成17年6～8月生まれ
9月5日	水	3歳児健康診査	12:30～13:00		平成16年5月～6月生まれ
9月19日	水	3～4か月児健康診査	12:15～12:45		平成19年5月生まれ
9月26日	水	1歳6か月児健康診査	12:30～13:00		平成18年2月～3月生まれ
9月27日	木	2歳児歯科健康診査			田島地域のお子さん 平成17年9月～10月生れ

※地域の指定のないものは全地域対象です。

◆乳幼児健康相談

日程		相談名	受付時間	会場	対象者
8月23日	木	6～7か月児健康相談 12～13か月児健康相談	9:30～9:45	伊南会館	伊南・南郷地域のお子さん 平成18年7～8月生まれ 平成19年1～2月生まれ
9月11日	火	6～7か月児健康相談	13:30～13:45	保健センター (御蔵入交流館内)	田島地域のお子さん 平成19年2月生まれ
9月28日	金	12～13か月児健康相談	13:30～13:45		田島地域のお子さん 平成18年8月～9月生まれ

◆乳がん健診のお知らせ

乳がん検診が9月から始まります。近年、生活の欧米化に伴い、女性がかかりやすいがんとして乳がんが注目されています。乳がんは早期発見が予後に大きく影響します。

この機会にぜひ受診をおすすめします。

検診を希望される方で、まだお申し込みでない方は下記の保健センター等へお申し込みください。

保健センター開放日

就学前のお子さんとその保護者の方を対象に、保健センターを開放しています。

お子さん同士、お母さん同士の情報交換、交流の場としてお気軽にご利用ください。

保健センター（御蔵入交流館内）健診ホール開放日

9月14日（金） 9:30～11:00

伊南保健センター「すこやか」開放日

毎週火曜日 10:00～12:00



このページの記事に関するお問い合わせは・・・

田島地域 南会津町保健センター TEL0241-62-6180

館岩地域 館岩総合支所住民課 TEL0241-78-3325

伊南地域 伊南保健センター TEL0241-76-7121

南郷地域 南郷保健福祉センター TEL0241-73-2788



県立南会津病院から①

6月から小児科に常勤医師が1名派遣されました。



かんの あきお
菅野 晶夫先生

赴任された菅野先生は保健所での勤務経験が長く、平成9年から平成16年までは南会津保健所長として勤務されていました。ご存知の方も多いのではないのでしょうか。

菅野先生にインタビューしました。

インタビュー

Q. 南会津に再び戻られた感想は？

菅野：以前も赴任していて慣れ親しんでいましたので、ふるさとに戻ってきた、というような印象です。仕事やプライベートで首都圏に行く機会が多いのですが、南会津は首都圏へも電車で乗り換えなしで行くことができますので、そんなに不便は感じません。

Q. 一人体制ということで、大変ではないかと思いますが。

菅野：ここに赴任する前に勤務していた須賀川市の病院では、4人の医師で1日に200人を超す患者さんを診察したこともありましたが、こちらではそこまで多くの患者さんがいらっしゃることはありませんので、大丈夫です。ただし、全ての診察を1人で全て行うわけですから、より責任を感じています。また、1人体制ということで、全ての病気、症状に対応できるわけではありません。こちらで対応できるケースはこちらで、より専門的な診察が必要な場合は会津若松市の大きな病院へ紹介状を出すこととなりますので、ご理解いただきたいと思います。

Q. これから夏本番を迎えますが、子どもたちの健康管理で気をつけなければいけないことは？

菅野：夏は夏風邪をはじめプール熱や手足口病といった感染症が流行しやすい季節です。保護者の皆さんには、子どもたちの顔色や表情をよく観察いただきたいと思います。また、手洗いうがいもお忘れなく。もし、「おかしい」と思われたらすぐに南会津病院へお越しください。これからもよろしくお願いたします。

■PROFILE
菅野 晶夫 (かんの あきお)
昭和30年12月生まれ(51歳)
出身地：福島市
経歴：福島県立医科大学卒業
専門：小児喘息、神経学
趣味：読書



むし歯ゼロで元気な笑顔



居倉歩未ちゃん (川島)



佐藤陸斗ちゃん (田部原1)



室井結菜ちゃん (上塩江)



舟木諒汰ちゃん (今生)



太竹葉月ちゃん (上町)



猪股梨杏ちゃん (東町)



湯田健人ちゃん (本町)

南会津病院からのお知らせ②

院外処方せんの発行の推進について

国では、より高い水準の医療を確保するため、診療は病院で、投薬は保険調剤薬局(院外薬局)でという、医薬分業を推進しています。

医薬分業することにより、薬局では患者様がお薬の名前や時期、お薬のアレルギーのことなどを患者様ごとに記録を行います(薬歴管理)。これにより、過去に副作用を起こした薬を再び服用することを避けたり、お薬の飲み合わせを確認したりできるようになります。

このため、党员でも将来の全面院外処方の実施に向け、下記の診療科で積極的に推進していますのでお知らせします。

記

外科・小児科・耳鼻咽喉科・産婦人科皮膚科

問い合わせ：福島県立南会津病院

TEL 0241-62-7111

処方せんの調剤ができる町内の薬局

田島地域：(有)十字堂薬局・大丸薬局・樋口薬局

クオール薬局南会津店

南郷地域：清水屋大竹薬局・コスモ調剤薬局南郷店

御蔵入交流館情報 8・9月の公演

- **01**
南会津町合併1周年記念事業
三井住友海上文化財団派遣コンサート
ま ち あ ア ッ ト エ ス キ ョ う な か ま
真知亜 @ N響. nakama.
～楽器の魅力～
8月19日(日)
14:00 開演 (13:30 開場)
■出演: 齋藤真知亜
(NHK交響楽団第一ヴァイオリン・
フォアシュピラー) ほか
■入場料:
大人 1,000円 (当日 1,300円)
高校生以下
500円 (当日 700円)
※未就学児入場不可
■問い合わせ
御蔵入交流館文化ホール
TEL 0241-62-6311
- **02**
4 地域合同で行われます
平成19年度南会津町成人式
8月15日(水) 10:00 開会
■問い合わせ
教育委員会生涯学習課
TEL 0241-62-6311
- **03**
親と子におくる映画の夕べ
“私のあしながおじさん”
8月11日(土)
16:00 開演 (15:30 開場)
■問い合わせ
教育委員会生涯学習課
TEL 0241-62-6311
- **04**
舞台ワークショップ“御蔵入仕込人”
「舞台照明コース②」
8月26日(日)
13:30 開演 (13:00 開場)
■参加費無料 (事前申込必要)
■申込み締切 8月23日(木)
■問い合わせ
御蔵入交流館文化ホール
TEL 0241-62-6311
- **05**
SATOE スポーツ&カルチャー
フェスティバル in たじま
サマーナイトコンサート
(吹奏楽コンサート)
8月25日(土)
17:30 開演 (17:00 開場)
■出演: 埼玉栄高校・田島高校・
田島吹奏楽団・田島中学校
■入場無料
■問い合わせ 本庁企画観光課
TEL 0241-62-6200
- **06**
劇団四季公演
ユタと不思議な仲間たち
9月8日(土)
18:00 開演 (17:30 開場)
■入場料: 大人 4,000円
3歳以上中学生以下 3,000円
■問い合わせ
御蔵入交流館文化ホール
TEL 0241-62-6311
- **07**
田島あたらカラオケ発表会
9月2日(日)
9:30 開演 (9:00 開場)
■入場無料
■問い合わせ
田島あたらカラオケ会 星
TEL 0241-62-3207
- **08**
学校行事ですが、
関心のある方も入場可能です
南会津郡小中学校音楽祭
8月29日(水)
10:00 開演 (9:30 開場)
■問い合わせ
南会津郡音楽教育研究会事務局
TEL 0241-62-1004 (田島二小)

知っていますか? まちの文化財 パートVII 南郷地域



町文化財に関するお問い合わせは
教育委員会文化振興係 TEL 0241-62-6311

◆奥会津の運搬用具ソリと付属品
奥会津南郷民俗館(所有者:南会津町)

冬 場における民俗文化を象徴する運搬用具「ソリ」。奥会津地方に入った年代については記録がないので詳らかではありませんが、南郷村史によると、江戸中期にはソリ職人がおり、明治始めには鴉巢の馬場忠次さんがソリに改良を加えて、軽く、引きやすくして販売していたと伝えられています。燃料として使用する薪の運搬から、家の新築材料や売買用の木材の搬出、稲作の春肥の運搬・その他墓石の運搬・病人や医者を乗せて運んだり、その用途は数え切れません。奥会津南郷民俗館では、積雪を利用する普通ソリ、馬ソリ、子供たちの遊び用の箱ソリ、木道運搬用の土ソリ等実に多種多様なソリが保存されています。また、ソリに付属した肩にな・引きにな・クルリ・腕木・たが等ソリに使用する一式の道具は勿論、ソリを引く人の着衣まで一切を収蔵しており、昭和63年(1988)3月、県指定有形民俗文化財の指定を受けています。

●教育委員会・生涯学習課

奥会津地方歴史民俗資料館

「藍染フェア2007」開催のお知らせ

当資料館では寄贈いただいた染屋の建物と諸道具一切を保存しております。今回の企画は当町にただ一人残る型染工芸技術伝承者・芳賀文助氏の優れた技術を見ていただくと共に実際に伝統的な方法で型染を体験しながら、自分だけの作品を作っていただくというものです。

【日 時】

平成19年9月8日(土) 12:30～16:00
9日(日) 10:00～正午(予定)

※ 型染の工程上、2日間の参加が必要です。

【場 所】 南会津町総合歴史民俗文化財保存施設
奥会津地方歴史民俗資料館

【参加料】 2,000円(材料代・お1人様)

◆参加ご希望の方、内容等の詳細については奥会津地方歴史民俗資料館までお問合せください。

【お問合せ先】

奥会津地方歴史民俗資料館
TEL 0241-66-3077

青少年育成町民会議からのお知らせ

◆青少年の健全育成に関する標語募集◆

近年、青少年を取り巻く問題が深刻化する中、大人が今、青少年の健全な育成のために何ができるかを、標語を作ることを通し一緒に考えてみませんか。募集する標語は左記のとおりです。みなさんの応募をお願いします。

【対 象】 町内に居住する成人の方

【募集作品】 ①青少年健全育成に関し次のいずれかをテーマとした標語 ア) 地域の子どもは地域で見守り育てる イ) 家庭の役割 ウ) ありがとうの心を育てる エ) あいさつ ②字数はおおむね30字以内 ③創作で未発表のもの ④1人3点以内

【応募方法】 標語及び住所・氏名・年齢・職業を明記し、教育委員会生涯学習課に提出、または郵送・FAXしてください。ハガキによる応募もできます。

【募集期間】 平成19年8月1日(水)～9月20日(木)

【表 彰】 最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作若干名を、平成19年11月3日に開催する「南会津町青少年の主張大会」で表彰します。

お問い合わせ教育委員会生涯学習課

TEL 0241-62-6311



新着本を紹介します!

【一般図書】

- 日本人の矜持 藤原正彦 || 著
- 花火の図鑑 泉谷玄作 || 写真・文
- 名画の言い分 木村泰司 || 著
- 作って遊ぶ! 魅惑の万華鏡 照木公子 || 著
- 晩夏のプレイボール あさのあつこ || 著
- 木洩れ日に泳ぐ魚 恩田陸 || 著
- 青い鳥 重松清 || 著
- アサッテの人 ※芥川賞 諏訪哲史 || 著
- 吉原手引草 ※直木賞 松井今朝子 || 著
- 一瞬でいい 唯川恵 || 著
- 語るためのグリム童話1～7 グリム || 原作

【児童図書】

- どうして君は友だちがいないのか (14歳の世渡り術) 橋下徹 || 著
- 学習漫画世界の伝記1～40
- なんでも魔女商会シリーズ あんびるやすこ || 作

9月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

■が休館日

開館時間 / 10:00～18:00

広報みなみあいづ 平成19年8月号

うちの一階には鬼がいる!

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ || 著
絵本・ムーミン谷から1～5 トーベ・ヤンソン || 絵

このほかにも、図書館にはたくさんの新着本があります。ぜひご利用ください。

子ども読書活動推進講座

子どもの読書活動に関わっている方を対象に、読み聞かせや、朗読のスキルアップをめざす講座を下記のとおり開催します。興味のある方、ぜひご参加ください。

●開催日

9月6日(木) 午前10時30分～午後3時45分

●開催場所

御蔵入交流館・多目的ホール

●内容

【第1部】「子どもたちと本を結ぶ方法・楽しいおはなし会のコツ」

講師：福島県立図書館職員

【第2部】「わたしの朗読」

講師：雁田 昇氏(福島市出身、放送作家、俳優)

詳しくは図書館まで↓

南会津町図書館 TEL 0241-62-5522

情報をお待ちしています

広報みなみあいづでは、皆さんからの情報をお待ちしています。

また、広報誌へのご意見・ご感想もぜひお送りください。

募集コーナー

- ①サークルの輪 町内で活動中のサークル取材して紹介します。サークル名、活動内容、連絡先をお送りください。
- ②わが家のアイドル 就学前のお子様の写真を募集します。保護者のひとことを記載の上、お送りください。なお、送付いただいた写真は返却しませんのでご了承ください。

情報は、電話、FAX、郵便、Eメールにて受け付けます。お待ちしております。

〒 967-8501

(住所は不要です。郵便番号のみで届きます)

南会津町役場企画観光課

広報情報係 まで

TEL 0241-62-6200

FAX 0241-62-1288

アドレス info@minamiaizu.org



町の案内人 (田島地域)

「田島地域の観光資源の素晴らしさを、訪れた人に伝えたい。町の観光に寄与したい」との思いから昨年秋に発足した「町の案内人」(代表:小椋宏夫さん)。

発足後、勉強会を重ね、祇園祭や町の観光施設の学習をしてきました。先日行われた祇園祭は町の案内人最初の実践の場。参加した15名の会員の皆さんは笑顔で観光客の質問に答えていました。

興味のある方は小椋まで (TEL 090-9033-5863)

わが家のアイドル



星 真尋ちゃん (2歳)

館岩地域 前沢

父:勝則さん 母:小百合さん

毎日かや葺き屋根集落を散歩して近所の人とお話するのが大好きです。月2回のちびっこふれあいクラブも楽しみです。

編集後記

▽先日行われた「町長室へどうぞ」に田島地域の五十嵐邦夫さんと湯田貞吉さんがいらっしやいました。お二人は以前から町政に関心を持ち、昨年町政懇談会に参加いただきました。その中でお二人は「ぜひこういう場にもっと若い人たちに参加してほしい。そういう場にしてほしい」と話されました。お二人は80歳を超えていらっしゃるが、地域の住民、特に将来この地域を支える若者が幸せに暮らせるように願います。地域の課題について意見を主張されました。▽地域を支えるのは私たち住民です。その「私たち」には、幅広い世代の人間が存在し、その全ての人に役割があります。▽五十嵐さんからお二人の役割が次世代の若者のよりよい生活を願うことであるなら、私たち若者の役割はどうあるべきでしょうか。私自身、行政を職業としているものの、自分の地域での役割については消極的な部分が多いことを反省しました。▽「町長室へどうぞ」はどなたでも、どんな内容でもお越しいただけます。ぜひ、皆さんの「願い」や「主張」をお聞かせください。

企画観光課広報情報係 大桃英樹

【訂正とお詫言】

7月号で誤りがありました。

■お悔やみ申し上げます

【誤】 菊池 秀昭 【正】 菊池 秀昭

■まちな文芸

鳴山短歌会

【誤】 山内 葉子 【正】 山内 業子

まちの文芸

おくやま吟社 (田島地域)

祇園祭祓みだし千鳥足

どぶろくのしきりに恋し神詣で

少年となりて青梅落としけり

湯田 畀道

渡部 古泉

荒川 静山

会津山口俳句会 (南郷地域)

梅雨晴間天に睡りのある誘ひ

炎暑なか風立ち言葉生れけり

夕焼も木々の匂ひを消してゆく

酒井 秀穂

堀田たか女

馬場 彩幸

伊南銀杏俳句会 (伊南地域)

山城を低く見て飛ぶ雨燕

大臣が職を辞したる梅雨入かな

羽抜鶏はばたく意地を残しけり

吉川 伸生

馬場 良

石川 稔子

鳴山短歌会 (田島地域)

久々に友を訪ねてお茶となり話し果ては老い先のこと

麗らかな春となりたり雀らも兎らも賑はし家の家のねずみも

年金の記録正せと語気強めマイク握りて街頭に立つ

渡部マサ子

阿久津あき

大竹 幸一

南郷俳句会 (南郷地域)

薰風や百歳の笑顔生きいきと

一人膳大根の辛さかな

通院の同志仲間や炎暑中

コト

ヤシマ

セツ子

出生届・死亡届の受け付けの際、このコーナーへの掲載希望承諾書をお渡ししています。必要事項を記入の上、本庁企画観光課広報情報係、または各総合支所戸籍窓口までお届けください。

※7月1日～7月25日までに届出のあった分を掲載しています。



災害から学んだ教訓で作られた町並み

探訪 南会津

古町地区 (伊南地域)

古町の大火

昭和39年4月30日、その悲劇は突然古町地区を襲いました。折りしもその春は好天が続き、大地は乾燥し、さらにその日は15mを越す強風が吹き荒れていました。火の手が上がリ、強い風に煽られた火は瞬く間に古町を覆い、実に住家66棟、88世帯、非住家123棟を燃やし尽くしました。380名の住民が住まいを失い、山林焼失、建物焼失を合わせた被害額は4億円を超えました。

大きな損失からの教訓

当時の伊南村長馬場洪治氏は「館報いな」でこのように大火からの教訓について述べています。「あの災害を2度と繰返さない為に、又あの災害で得た、得がたい体験を今後の生活に生かしていくことが、とりもなおさず「禍を転じて福となす。」ことだと信じます。都市計画による道路、水利の整備、わら屋根の解消がその第一歩であります。都市計画の実施については今後いろいろの問題も起こりましようが、将来の為、地域発展の為に衆知を集めて完遂したいと祈願しております。」(伊南村史から抜粋)

引き継がれる先人の願い

このような願いのもと作られた現在の町並みは、現在も引き継がれ、古町の住民の手によって守られています。

広い道路、しっかりと確保された水路、そしてそこに託された願い。大火、そしてその教訓から生まれたこの町並みの意味を、私たちは忘れてはいけません。

昭和36年ごろの古町祭の写真。この後、昭和39年の「古町の大火」により、この古町の町並みは消えてしまいました。

なお、伊南地域では平成14年10月から無火災が続いています。

